

Fitness Industry Association



Fitness
Industry
Association
of Japan

編集: (株)クラブビジネスジャパン
TEL.03-5459-2841
FAX.03-3770-8744
E-mail.info@fitnessclub.jp
<http://www.fitnessclub.jp>

発行:(一社)日本フィットネス産業協会
TEL.03-5207-6107
FAX.03-5207-6108
E-mail. info@fia.or.jp
<https://www.fia.or.jp>

NEWS

Topics

トピックス

各社におけるコロナ感染予防対策と今後の展望
～FIAガイドラインの遵守と緩和～

JR東日本スポーツ株式会社

ジェクサー事業部 担当部長 森 直広 氏

株式会社ルネサンス

営業企画部 部長 落合 浩二 氏

株式会社オーゼスポーツ

フィットネス事業本部 フィットネス事業部

担当部長 宇山 和孝 氏

司会：(一社)日本フィットネス産業協会 松村 剛

※以下、敬称略

新型コロナウイルス(以下、コロナ)の感染は、変異株の出現により主要都市だけでなく地方にも拡がっており、引き続き、業界をあげて感染予防対策に取り組むことが重要と考える。そこで、今回はFIA加盟団体を代表して3社に感染予防対策について実際の取り組み事例と課題などを伺い、現場レベルで役立つヒントを紹介する。

ています。1つは、2020年6月1日より最初の緊急事態宣言の解除による営業再開の時に、店舗入口にサーモグラフィを設置しました。こちらについては現在は各社様導入されてきていると思います。2つ目は、定期清掃に加えて「クリンタイム」と名付け、1日3回の除菌作業を行っています(P2、写真3)。館内放送でクリンタイムに入ることをご案内してスタッフ全員が指導を止めて除菌作業を徹底します。3つ目は、レッスン前の密を防ぐためにスタジオWeb予約を導入しました。最後は、スタッフ(業務委託先を含めて)の体調確認表を作成、管理しています。スタッフには出勤した日に限らず休んでいる日を含めて全ての体調と体温のチェックを記入してもらっています。

◆写真1:コロナ予防対策の徹底チェックリスト(ジェクサー提供)

[illegible]

松村: まずは、フィットネス業界におけるコロナ感染者状況について振り返ります。2021年になってから新聞報道されたクラスター発生は6月7日現在22件ほどです。

特徴的なのは、関西、中国地方、四国などの西部でのクラスター発生が増えていることです。先日、岐阜県の某ホットヨガスタジオで大きなクラスターが発生した事例については、全員がマスクを着用が徹底されていなかったと聞きます。FIAとしても、今一度このタイミングで感染予防対策の徹底を呼び掛けていかなければなりません。

——それではまずはじめに、FIAガイドラインに準ずる感染
予防対策はもちろんなのですが、感染予防の有効性を高
めるために各店舗で実施されていることを教えてください。

森:6月1日営業再開の準備として、チェックリスト(写真1)を基にもう一度ガイドライン遵守の徹底を再確認しました。チェックリストは「全体」「フロント」「ロッカー」「スパ」「ジム」「スタジオ」「プール」「スクール」「ラウンジ」「スタッフ」の10個に分け、各項目に重要なチェック項目(「マスク着用」「除菌設置」「間引き」「ポスターの設置」など)が遵守できているかを店舗ごとに確認し、“見える化”しました。

また、一番注力していることは、飛沫感染予防対策で、マスク着用のお願いと、マスク着用ができないエリアでの会話厳禁のお願いを徹底しています。また、ガイドラインを遵守するのは当たり前なのですが、企業理念である安全安心な店舗を提供するために、ガイドライン以上の対策を4つ行っ

落合：FIAガイドラインの徹底はもちろんやっていて、濃厚接触者の定義である「マスクなしでの1m以内」という環境をつくらないことを徹底しています。ただ、先日ルネサンス池袋店のレッスン参加者で陽性者が確認されましたが、全員がマスクを着用し、ガイドライン通りの定員、距離を遵守していたにもかかわらず、参加者全員が濃厚接触者と認定される事例がありました。距離やマスク着用の有無、接触時間は関係なしにです。我々も自治体にすぐに確認・抗議を行いまして結局ご理解いただき、大事には至らず、逆に弊社の対策について、「きちんと感染予防対策がやれていますね」という言葉をいただきました。その際に自治体も「ヨガ」と「変異株」に関して敏感になっているというお話を伺いました。コロナ感染者の利用は正直防げないと思っていて、運の問題だと認識しています。しかしFIAガイドラインを100%徹底していれば、濃厚接触者は拡がらない、クラスターは起こらないと思っています。今回もガイドラインを遵守していたので自治体もご理解いただいと認識しています。ガイドライン外のことで言うと、冷水機の使用も制限しています。冷水機から直接口で飲むことは禁止にして、ペットボトルに入れることだけを許可しています。また、「RIN」(P2、写真2)という洗浄剤を使用して洗浄活動を行っています。弊社では販売代理店も行って、他社様にもご紹介させていただいています。この商品はコロナの不活化に有効というエビデンスが取れていますが、日本製品品質技術センターという機関でウイルスに有効性があると認定されているものです。パッチテストによると肌への影響は極めて少ないかつ手に触れてもほぼ人体に影響がなく、コストも安価です。このようなウイルスに対して有効性の高い商品を自社で仕入れて、コストも下げながら運営しているのが今の実態です。

松村:この「RIN」はどのように使用しているのですか。

落合:噴霧器などを使って、定期的にお客様がご利用されるマシンなどに吹きかけています。洗浄剤なので、消毒液と違って一定期間は抗菌効果があるので、モノに対しての有効性かなりあると思っています。20分の1に希釈して使うので、クラブによっては4リットルでも1ヵ月程度はもちます。

◆写真2:ルネサンスで使用されているアルカリ洗浄剤「RIN」



森:モノ(マシン)に対して使用されているだけで、手指への消毒には使っていないということですか。

落合:手指に使用しても本当は問題がなく、効果も期待できるものですが、感染者が出たときにアルコールでない保健所に指摘されてしまうので、手指には使用していません。

森:ルネサンス池袋店さんに関しては、一度濃厚接触者として認定されたが、抗議をして取り下げてもらったということですか。

落合:その自治体では濃厚接触者と認定されると、PCR検査の結果にかかわらず2週間の隔離が義務付けられるのですが、「すぐにPCR検査を受けていただければ、2週間の隔離は強制しません」と言っていました。対象者の方にすぐご連絡を差し上げたら、検査を拒否されたお一人を除いて全員陰性でした。濃厚接触者の認定が取り下げられたというわけではありませんが、結果、利用者様へのご迷惑を最小限に食い止めることができました。

森:ジェクサーにおいても以前お客さまがPCR検査の陽性となった時に、お互いマスクを着用しておりましたのでパーソナルトレーナーは濃厚接触者となりませんでした。ただ、今回(2021年4月25日から)の緊急事態宣言期間中に同様の事例に対して保健所からは濃厚接触者となった時がありました。「過去となぜ判断が異なるのですか?」と保健所に確認すると、「緊急事態宣言中なので、認定の基準を厳しく

しています」と。保健所の逼迫具合によって、判定が異なることがあります。

宇山:弊社が一番ポイントとしているのは、スタッフがマイナス思考ではなく、前向きに感染予防対策に取り組めるようにすることです。ガイドライン遵守はお客様が安心・安全・快適にクラブをご利用ただけて、新たなフィットネスライフが提供できると、プラスに捉えて取り組むことを会社全体で意識しています。また、コロナ対策の一つとして一部店舗(コ・ス・パ松井山手店)では、サーモグラフィで体調チェックをするとチェックイン機能と連動するシステムを試用しています。

森:会員カードをチェックリストする代わりに、顔認証でチェックインできるということですか。

宇山:そうです。「サーモグラフィでの体調チェック」の作業が1つ増えたので、1つ作業を減らすために顔認証システムを導入しています。

松村:マスクをしていても顔認証は可能なのですか。

宇山:可能です。ただキッズスクールに多いのですが、入会時の過去とは大きく見た目の変化が生じている方が多く、顔認証の不具合が散見されます。よって数年単位では顔写真の撮り直しが必要になってくることが課題です。

落合:顔認証システムは認証までに1~3秒程度かかると聞いたのですが、朝のラッシュの対応はどうされているのですか。

宇山:その課題はあるものの、お客様にはご理解いただいて運用しています。

——ありがとうございます。続いて、感染予防対策においてどうしても死角になりがちなことや、理想通りの対応が遂行できていない事例などがあれば教えてください。

森:やはりスタッフの目が行き届かない、ロッカーとスパが死角になります。ロッカーの場合はマスク着用の有無は時と場合によりますが、スパは完全にマスクを外されていますので、「黙浴」「黙サウナ」というポスター(写真3)を全店に貼り出しています。また、マスク不着用時の会話の禁止や、鼻までマスクを上げて正確に着用していただくことをお願いさせていただいています。そして、何度もお願いして、それでもお守りしていただけないお客様に対しては会員喪失の対応をしています。これまで数名の方を対応しています。

◆写真3:(左)スパ内に貼り出されている「黙浴」ポスター
(右)クリーンタイムのご案内ポスター



※ジェクサー提供

落合: ジェクサーさんと同じで、ロッカールームとお風呂が死角になっています。弊社もお風呂の中に「マスクを着用していない会話は禁止です」というポスターを貼っていますが、「ご遠慮ください」ではなく「禁止」と強い表現にしています。ロッカールームなどはスタッフが巡回してお声掛けをしていたこともあったのですが、時には激昂されるお客様もいらっしゃるのです。一部店舗ではその場で直接注意するのではなく、確認されたらその時点で即刻館内放送をかけるなど工夫しています。館内放送をかけると、他のお客様の視線が会話をしている方に向くので、その方は気まずくなるので効果的です。実際にルールを守っていただけない方は去年の緊急事態宣言中には多かったのですが、最近是一言お願いすると聞いていただける方がほとんどになっています。

宇山: 館内放送については、女性の声、男性の声の両方で流しています。掲示物に対しては、営業目的のポスターと感染予防対策のポスターが混在しないよう感染予防対策のポスターを整理し、定期的にデザインやカラーを刷新して啓蒙を図っています。また、2時間に1回以上のロッカー巡回によるお声掛けをしています。なお、当初に比べるとスタッフの粘り強い対応が奏功しお客様の意識は高くなっている印象です。

——やはりロッカーやお風呂が課題ですね。私自身いろんなジムを利用していますが、残念ながら会話をしているお客様に清掃スタッフが声を掛けていているところは見たことがないです。各クラブの清掃のオペレーションによって違うとは思いますが、清掃スタッフに注意をしてもらうことは難しいのでしょうか。

「すみません」と会話をお断りすることもあります。

松村: 「今はロッカー内での会話は控えさせていただいています」とお客様にご理解いただくことも大切なフローの1つですよね。

宇山: コ・ス・パでは清掃スタッフを外委託しており、外部スタッフによる直接の注意は難しいのが実態ですが、弊社のスタッフに報告してもらって対応するようにしています。また、スタッフのルーティーン業務にロッカールームを通る機会を増やしています。例えば、プール監視に行く際は必ずロッカーを通るようにしています。スタッフの通る機会を増やすことで「スタッフが居るからちょっと静かにしよう」という意識づけにもなると思いますので、そういった取り組みもしています。

——感染予防対策を講じるなかで、お客様とトラブルになるケースもあると思います。トラブルの具体的事例と、対処を重ねるなかでできた対応フローなどあれば教えてください。

森: すべてのトラブルは基本的に店舗完結で、マネジャーが対応するフローになっています。ただそれでも手に負えない時は、数は少ないですが、私が直接対応します。本社に直接入電があった場合は、店舗にフィードバックします。コロナ関連でのお客様同士のトラブルはあまりないですが、お客様が別のお客様のことをスタッフに伝えて、間接的にスタッフが注意してトラブルになるケースはありますね。お客様がまったくルールを遵守いただけていない時は、その場で会員喪失までもっていきます。

落合: 基本的なトラブル対応の流れは、ジェクサーさんと同じです。支配人のうえにエリアマネジャーがいますので、どうしても店舗内で解決できない時はエリアマネジャーが対応することもあります。コロナの初期段階(2020年前半)ではトラブ

森: ジェクサーにはユニホームを着用したクリーンスタッフがあり、ロッカーとスバを中心に清掃する専門がいます。先ほど落合さんもスタッフが疲れてきていると話されていましたが、スタッフへの勇気づけは必要ですね。私が各マネジャーによく言うことは、「感染予防対策として注意したことに対してクレームを言われるお客さまは退会させていい」とはっきり言っています。せっかく、スタッフが注意してくれたのに、次は言い方に気を付けてと指導してしまうと、言う側も戸惑い勇気がなくなってくるのです。注意するのは良いけどそれで上司・会社は守ってくれない体制では良くありませんので、弊社のスタッフはクリーンスタッフを含めて良く頑張ってくれており感謝しています。また、勇気づけの部分で、もう一つ意識していることがあります。『スタジオプログラムが終わった直後にマスクを着用しながら「楽しかった」とお客様同士が会話をしていることが多い』と別のお客様からクレームを受けることがありますが、私はマスク着用されているのであれば注意しなくて良いと言っています(長時間、大声は別)。その代わり、マスクを外されている時の会話を徹底的に注意してほしいと伝えています。先ほど宇山さんが仰っていた「ポスターはコロナ対策だけのものにして、マナー関係のものは貼らない」に近いんですけど、あれもこれもとお客さまに言われることすべてをやっているとスタッフも大変になりますので、違う意味の勇気づけとして、感染予防対策にもメリハリをつけています。

落合: ルネサンスは、社員スタッフが清掃まで行っていますので、巡回時にお客様がマスクなしで会話をしている時はご案内しています。ただ、お客様からは「スタッフが居なくなると喋りだすから常にいてほしい」と言われることもあります。逆に、トレーナーが居るとお客様から喋りかけてくることもあるので、

トラブルも多かったのですが、最近はおじれることはあまりないです。会費絡みのトラブルはありますけどね。

宇山: 弊社も同じです。私もエリアマネジャーをしていた時は現場に出て説明をしていましたが、それでもお客様が納得されない時は、「今後のご利用はお控えください。」と対応したこともあります。その一方で、緊急事態宣言による休業や時短営業要請によって、運動したい時にクラブが開いていないことへのご意見は多くなっています。

松村: 各店舗で、お客様に「このガイドラインは誰が作ったのか」「根拠は何だ」と突き詰められることもあると聞いています。これは業界団体であるFIAが定めているガイドラインですので、ガイドラインの根拠などの追求で、店舗ではどうしても手に負えないことがあればFIAに振っていただいて構いません。そうしたケースに関しては、FIAの電話番号をお伝えいただいで結構です。

——日本においてもようやくワクチン接種が進んできました。ガイドラインの改訂を担うFIAとしてお聞きしたいのですが、今後ワクチン接種の普及に合わせて、フィットネス施設のオペレーションについて今後どんな変遷になっていくのが望ましいとお考えでしょうか。

森: 希望としては、2つあります。1つ目は、“間引き基準の緩和”です。営業面から考えると、スタジオとサウナの間引きに関してガイドラインにあそこまで具体的な記載があると収容人数が限られるので厳しいです。各社から間隔を1.5mにしているなどいろいろな話を聞くので、もしルールが崩れてきているのであれば、「ゆとりをもたせる」くらいの表現で留めていただいて、数字を入れるのは避けていただけたら助かります。「サウナやスタジオが一杯で入れない」という声はよくいただくので、ワクチン接種がより進んだらスタジオとサウナの間引きを

解きたいというのが1つです。2つ目は、コスト面の話ですがジムにおけるペーパータオルを削減したいです。ジェクサーはお客様の要望でタオルも用意している店舗もありますが、ペーパータオルの回収と費用が非常に掛かってきています。感染予防の観点から言うと、モノを触っても除菌をしないといけないうのはあくまで自分の手だと思います。ペーパーを使ってマシンを拭くのはジェクサーにすぎないのであれば、マシンの除菌作業をカットしたいですね。

落合: 森さんに少し被せてお話をさせていただくと、コロナ感染に関する正しい知識がアップデートされているはずなので、その知識を基にガイドラインもアップデートさせたいです。「モノからは感染しない」とか、「飛沫感染は口が4割、鼻が4割、目が2割でそれ以外の感染経路はない」など、いろんな情報を報道で目にします。それならば除菌の意味って何なんだろうってなりますよね。他にも、今はハンドドライヤーには感染リスクがないと言われていると思うのですが、駅のトイレなどではまだ停止されているので、世の中の温度感を見ながら緩和できればと思っています。あまり感染予防に有効ではない対策や、“感染リスクがほぼ無い”所への予防策を行っているのであれば、そこは止めていければと思っています。

森: ハンドドライヤーの話でいうと、お客様から「ハンドドライヤーはダメなのに、なぜ扇風機やヘアドライヤーは使用しているんですか？」との問い合わせが店舗経由でありました。すぐに保健所に確認したところ、ドライヤーの場合は頭(髪)に菌はないとはっきり言っていて、あくまで手から感染するのでドライヤーは大丈夫ですと。扇風機も同じ考え方で、基本的には身体を乾かすものなので大丈夫なようです。こうい

松村: 国や自治体との交渉についてはこれまで以上に密に取り組んでいこうと思っていますので、宜しくお願いします。今の話を聞いていると、サウナの待ち時間がネックそうですね。

落合: 我々も今まではFIAガイドラインを遵守して、サウナマットなどは禁止していたのですが、FIAにも相談の上、利用後に洗い流せるサウナ用マットなどは使用可としております。それを相談した理由は、お客様から「一般の銭湯ではサウナマットを使用している。なんであちは良くて、こっちはダメなんだ」と多くのご意見を頂戴したからでした。

森: 銭湯やサウナ専門店では間引きをすると商売にならないので、「間引きの代わりに何をされてるんですか？」と聞いてみました。そしたら、定期的に温度・湿度チェックをする際に扉をしばらく開けっ放しにして換気をしていると。間引きは1mが基準になっているので、ジェクサーでは、口から口の1mにしています。細かいことですが、ラインを引くと必要以上に離れてしまって収容人数が減ってしまうので、ラインは引かず小さいサインを床に貼るように指示しています。

松村: ガイドラインの整合性の部分で言うと、もう少し細分化した明記が増えるように内閣官房や各団体との刷り合わせを進めた方がいいという理解で宜しいでしょうか。

落合: 最近、体育の授業でお子様が亡くなられた報道があったので、保護者の皆さんはかなり敏感になっています。お子様のスクールに関してはマスクを外させてほしいという要望が各カルチャー団体からも来ています。冷房が効いている、休憩が取れる、一定の距離を空けてマスクを外すことができるので、今は、カルチャーと言ってもスポーツクラブでやっているジュニアスクールということでガイドラインどおりマスク着用を必須としています。その辺りを他団体とうまく連携いただいて正しい対策の仕方がわかると良いなと思っています。

いったことを聞くと、ハンドドライヤーを停止させていることには若干違和感がありますよね。

落合: もう1つは、致し方ない部分もありますが、浴場業、水泳協会、テニス事業協会など、同じ環境に対する各業種のガイドラインの内容が違います。我々は上段にあるFIAのガイドラインに準じて対応してはいるものの、どうしても場所によって対応にバラつきが生じます。現に、テニス事業協会に準じているテニスコートなどは距離がとれるシーンではマスクを外してOKとなっています。それ以外でも隣接する同業社のクラブ間の不整合が起きているので、せめて各業界のガイドラインの整合性は合わせたいなと思っています。確かサウナ・スパ関連施設のガイドラインとも基準が違うと思います。

宇山: もちろん緩和を望む気持ちはありますが、完全な緩和までには時間がかかると考えており、一定の制約のなかでも適切に運営をできる形態を目指すといけないう気持ちです。また、私たちもスタジオやサウナの待ち時間への対応が重要と感じています。スタジオに関しては予約システムなどを導入して対応していますが、サウナの待ち時間の対応には頭を悩ませています。あとは、キッズスイミングやキッズカルチャーを併設しているクラブが多く、そこをどの団体のガイドラインに合わせるかを非常に迷っています。今はFIAガイドラインに合わせていますが、キッズダンスなども非常に少ない人数でやっています。また、FIAには非常にご尽力いただいているが、適切な感染防止対策の継続を前提として、休業に関する行政からの要請に関してはできれば緩和してほしいです。社会として、運動の提供価値をもっと重要視してほしいと思っています。

松村: FIAガイドラインでは、大人、子どもの区別がないですからね。今のご意見に反論するわけでは決していないのですが、兵庫県のスイミングスクールなどでクラスターが発生しているのも事実です。子どもだから感染リスクが低いというわけではない一方で、マスクが原因で子どもの死亡事故も起きているので、慎重に進めていく必要があると考えます。テニス事業協会などの他団体との連携は取り組み途中なので、一度情報交換の機会を持たせていただくようにいたします。

以上

◆座談会中の様子。Zoomで開催いたしました。



上段

(左)株式会社ルネサンス 落合氏
(中)株式会社クラブビジネスジャパン 平野氏
(右)一般社団法人日本フィットネス産業協会 松村

下段

(左)株式会社オージースポーツ 宇山氏
(右)JR東日本スポーツ株式会社 森氏

座談会にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

Board Meeting

理事会報告

FIAは2021年5月21日弘済会館（東京麹町）で第209回となる理事会を開催、理事監事18名が出席した。

議事1 審議・決裁事項

(1) 会員入退会の件

事務局より以下の入退会申請があることが説明され審議の結果、いずれも承認された。

退 会

<賛助会員>

会 社 名: JapanSwimmingTaskForce 株式会社

所 在 地: 東京都千代田区

理 由: コロナ禍による

入 会: 2018年12月

商 材: スイミングスクール支援ホームページ事業

入 会

<賛助会員>

会 社 名: みんな電力 株式会社

所 在 地: 東京都世田谷区

資 本 金: 9億1,999万円

営業内容: 電力小売、再生可能エネルギー発電、空気環境対策事業

(2) 理事選任の件

事務局より下記理事交代希望について説明を行い、審議の結果異議なく承認され、定款に基づき総会に選任を諮ることとした。

江藤尚志理事より2021年6月の定時総会を以て辞任し、代わる理事に年永文明氏（JR東日本スポーツ株式会社）を選任候補者として旨申し入れ。

=渉外・総務分野=

委員長及び事務局より、以下事項について説明すると共に、必要事項は協議を行った。

(1) FIA 広報PRプロジェクト委員会について

2021年度事業計画に基づき、FIAの広報活動・発信力強化を図ることを目的に、加盟企業委員および外部専門家による委員会を設立すること並びに活動メンバーを選抜することを決定した。

【設立趣旨】

コロナ禍において、大きな業績の損害を受けたフィットネス業界は、感染拡大防止ガイドラインの設定と遵守以来、施設内での感染リスクが少ない実態にもかかわらず、未だに、会員の戻りや入会者は少なく、業績回復には遠い状態である。一方、この状況下で国民の健康意識は今まで以上に高まり、運動の必要性やフィットネスの有益性の認知が広がっている。さらには、運動不足、外出不足による健康二次被害の心配が大きくなっている今、信頼できる施設や事業者による安心安全なフィットネスのニーズは高まっていると言える。

そのような中、これまで施設認証やガイドライン設定、FCM検定など、安心安全で質の高いフィットネス業界を推進してきたFIAであるが、まだまだその存在が一般の消費者に浸透しているとは言い難く、今こそ、さらなる広報活動や発信を強化し、FIAの団体としての存在と加盟企業の品質と信頼性をアピールすることで、国民の健康増進ニーズに応え、加盟企業の業績回復、ひいては日本のフィットネス業界を再興へと向けていきたい。

任期は2021年6月15日より、江藤理事の任期である2022年6月（総会日）までとする。

(3) 第34回定時総会の会場と議案内容について

事務局より以下について説明があり審議の結果いずれも承認・議決された。

① 総会会場の変更

弘済会館（千代田区麹町）を会場とする旨208回理事会で承認のところ、会場都合によりAP東京八重洲（中央区京橋）に変更すること。

② 総会議案内容

別冊総会議案書案に基づき議事内容を審議し、原案通り総会に付議すること。

議事2 報告・協議・承認事項

=検定事業分野=

委員長及び事務局より、以下事項について説明すると共に、必要事項は協議を行った。

昨年度に続いて、JATI共同にて、「ダブルライセンス推進のための、特定団体推薦特別受講生募集事業」を行うことを承認した。

特待内容: ATI資格取得講習費用免除（約11万円）

応募資格: 2021年度に以下a・b・cすべてに該当する者

- a. 本制度適用団体であるFIAから推薦を受けた者
- b. FIA加盟クラブ従業員である者（正社員、契約社員含む）
- c. 大学、短期大学、専門学校卒業、もしくは高等学校卒業後3年以上の運動指導歴のある者

共同事業先: 特定非営利活動法人 日本トレーニング指導者協会

【内 容】

理事企業等より委員メンバーを出向、意見交換・検討を行い有効かつ効率的な広報宣伝活動を企画提案、実施してゆく。

メンバー数: 5～7名程度を想定

事務局: FIA事務局

【検討事業】

- ・国民、業界関係者、政府関係者、自治体等、幅広いターゲットに向けての認知向上を図る企画づくり
- ・FIAホームページの改修による、機能面やPR面のアップ
- ・フィットネス業界復活キャンペーン的な集客PR企画の立案実行
- ・SNSなどを使ったFIA発信の強化、ブランドづくりの検討、企画、実施
- ・その他、有益な広報宣伝活動の検討

【スケジュール】

5月 委員募集・選任、第一回委員会。

以降、月2回程度の会議開催（WEB含）、

7月～ SNSなどの実行。9月頃 大きなキャンペーンの打ち出し予定

【予 算】

FIAコロナ対策予算 10,000千円

(2)次期役員・組織について

事務局よりFIAの状況及び前理事会協議を以下のように報告した。

今年度、理事監事は任期中間期であり、総会には一部理事の入れ替えのみ付議することとなる。前回理事会協議の確認として、社会と業界の環境を見るに、2020年度同様の状況が今しばらく継続するものと思われる中、FIAの活動として政官界折衝など対外的重要応接が増え、事務局としても対応可能な体制構築が求められる。また、外部発信力がこれまで以上に求められる。

これを受け、出席理事より意見を求めて協議の結果、2020年度コロナ対応として組んだ体制を維持することとした。なお、田畑理事より会社業務都合により副会長職継続が難しい旨表明があった。

2021年度組織活動については、年度事業計画に連動し、新設委員会並に年度事業遂行のため必要に応じてプロジェクトを組み、対応することとした。

(3)東京都オリパラ局依頼

「アーバンフィットネス推進事業」協力について。

東京都オリパラ局より本年10月に2日間、都内公開空地で仕事帰りの人を対象とする運動機会創出事業を計画中であり、※トレーニングマシン・機器などの展示・実演・体験、※エクササイズタイム的レッスンの実施、等に協力できる企業がないか、との照会があったが、個別に打診を受けている企業もあり、FIAが主体とならないこととなった。

ては経営的危機を超えた状況なるため営業の再開を行いたい。

- ・休業要請延長が出て、国からの要請(時短)内容を基本とし、営業する。20時(時短)の場合も、18時から20時に密状態が発生するため更なる対応をとる。という表明もあるのではないかな。
- ・クラブ現場は営業維持希望でも、本社や社会的要請が国・自治体の要請順守である場合もあり、一律には決められない。出席者意見を経て、更なる延長が発出された場合に向け、FIAとして以下のような意見表明をすることとした。

■自粛対象からの除外を求める。

- 理由：①スポーツクラブでの運動は不要不急には該当しない。
(昨年からの休業、時短営業の結果健康二次被害が拡大しており更なる悪化が予測される)
- ②スポーツクラブ会員は通いやすさから、住地域、通勤途上地域のクラブを利用しており、クラブ利用に伴う余計な人流の発生はない。
- ③日頃の利用者数は定まっておき営業が人流の増加を招来しない。
- ④昨年6月の営業再開以来、クラブは厳格なガイドラインのもと運営され、クラスターの発生を見ていない。

(2)業界支援策の状況と活用について

内閣官房によるオリパラ連携事業へのクラブ協力のスタートについて事務局より説明を行った。事業受託事務局による説明会(19、20日)33社45人参加(全FIA)

(3)その他

FIAが把握する感染者利用情報収集について(5月18日現在)。

■新型コロナウイルス罹患来館の報告件数・・・306件

(主にFIA加盟各社から寄せられた報告/来場者・スタッフ含む)

■要観察対象になった案件数と対象者人数者数・・・21件/181名**■FIA加盟企業施設内での感染(クラスター)認定がなされた件数・・・0件****=コロナ対応分野=**

会長及び事務局より、以下事項について説明すると共に、必要事項は、協議を行った。

(1)緊急事態宣言対応**①各方面への陳情の報告**

事務局より昨年春以降行政・自治体の長・政治などの方面に行った面談・陳情16件の経緯を説明した。

②6月再延長の際の業界対応姿勢について協議

5月末緊急事態宣言再延長でさらに休業要請対象となった際のFIAの考え方、業界団体発社会へ向ける声、について、出席者の意見を求めた。

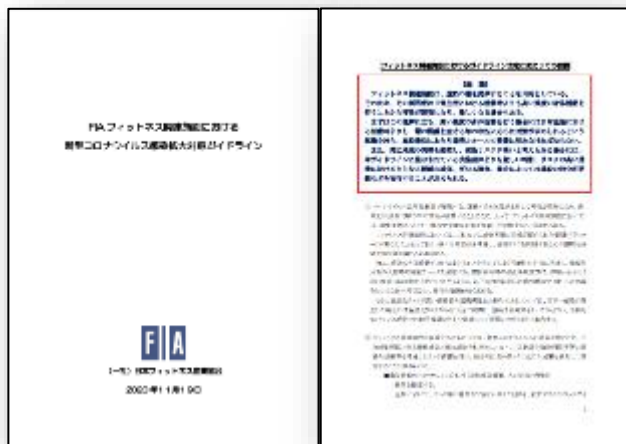
- ・大阪・東京の休業要請は人流を止める点をメインに見直しが図られたが、決定に至るプロセス・理由は説明がなく決定について矛盾を感じる。
- ・デパートなど、解釈・読み替えを行い営業拡大している業種もある。
- ・大型施設休業要請における協力金もまだ提示されておらず、全体像が見えない休業要請の感がある。
- ・4月25日からの緊急事態宣言内容と比較し新たな策も無く一部緩和された業種もあり感染者数の減少についても懐疑的である。
- ・5月31日までの期限で解除されない可能性もありその場合に備えFIAのスタンスを明確にしておく必要がある。
- ・イベント開催は一定の制限があるが緩和された。人流を止めるという考え方があるならなぜイベントだけ開催を認めるのか明らかにする必要がある。
- ・報じられる協力金については事業特性から補填要素としては一切ない現状でありこれ以上の業績悪化について

ガイドライン遵守のFIA加盟施設にあっては施設内感染ゼロ。

※この後もガイドラインの确实遵守をお願いします。

ガイドラインPDFは以下のURLから確認できます。

https://www.fia.or.jp/wpcontent/uploads/2020/11/fi_a_guide_04.pdf



FIA作成の『新型コロナウイルス感染拡大対応ガイドライン』最新版

フィットネスクラブ・マネジメント技能検定について

事業を取り巻く環境へ対応できるのは、運動指導・運動サービス提供とそのマネジメントの両方の技能を持つ人財！

2021年FCM試験1級、2級、3級の試験についての概要はFCMホームページで公開中です。新型コロナ禍等のような事業環境の変化が求められるか不透明な時代だからこそ、FCM技能検定の学習、国家資格を取得し、自信を持って仕事をしましょう！

その上で、提供している商品・サービス(運動指導・運動サービス)を知り、実践できることが大切です。

国内で多くの有資格者がいる代表的な運動指導資格の特徴(参考)

1 健康運動指導士・健康運動実践指導者

- ・有資格者は3万人規模と有資格者数は最大。
- ・成人病予防等の医療との連携を強めており、行政(厚労省)との結びつきが強い。
- ・行政施策の担い手となることを重要にしており、保健師などとのダブル取得者が多い。
- ・スポーツ分野に関する対応や運動に関する社会的ニーズへの柔軟な対応は難しい印象。



2 NSCAジャパン資格

- ・米国の資格認証団体の日本支部として資格発行している。
- ・CSCSが競技スポーツ分野、CPTがフィットネス分野と主に対象とする分野を分けている。
- ・米国では有力なストレングストレーニング団体で世界に進出しているが、英国、豪州、日本の各支部がNSCAから分離、分裂している。
- ・JATIはこの日本支部から分離独立している。

3 JATI資格

- ・スポーツとフィットネスの両分野をカバーしている。
- ・学会組織を持つ唯一の運動指導者団体であり、科学的根拠によるトレーニング指導を推進している。
- ・養成校、養成機関数 182は最大であり、教育機関との結びつきが強い。
- ・事業を取り巻く環境変化及び社会的ニーズに柔軟に対応し、資格の求める内容を進化させる。

フィットネス業界が求めているのは
『現場力』×『経営力』のハイブリッドな人材！

JATI特別受講生募集(受講料免除)

FIA正会員企業の人財強化へのご提案として、FIA準会員のJATI(NPO日本トレーニング指導者協会)の資格：JATI-ATI(JATI認定トレーニング指導者資格)の取得の特別受講生募集いたします。

特別受講生は、資格取得に必要な養成講習会受講料(税込115,000円)および教材費用(計税込14,080円)が免除されます。

対象者：

2021年度に以下a・b・cすべてに該当する方

- 本制度の適用が認められているFIAから推薦を受けた方(原則、既にFCM技能士資格保有者)
- FIA加盟クラブの社員であること(正社員、契約社員含む)
- 大学、短期大学、専門学校卒業、もしくは高等学校卒業後3年以上の運動指導歴のある方

申込み方法

FIA正会員企業にご案内済みの所定の申込み用紙にて6月26日までに、FIA事務局へ送信。

* 定員 50名のため、FIAにて選考の上、推薦します。

New Clubs

出店情報

6月のオープンクラブ

エニタイムフィットネス内神田

所在地：東京都千代田区内神田1-15-2

エニタイムフィットネス坂戸浅羽野

所在地：埼玉県坂戸市花影町25-19 1F

エニタイムフィットネス藤枝小石川

所在地：静岡県藤枝市小石川町2-15-24 1F

エニタイムフィットネス妙法寺

所在地：兵庫県神戸市須磨区妙法寺字荒打314-1 1F

エニタイムフィットネス薩摩川内

所在地：鹿児島県薩摩川内市中郷2-1-3 2F

FIT-EASY甲府 山梨県

所在地：甲府市飯田1-3-29

FIT-EASY豊田 愛知県

所在地：豊田市司町1-7-1

FIT365恋ヶ窪

所在地：東京都 国分寺市東恋ヶ窪5-6-3 恋ヶ窪SC1F

ティップネスイオンモール川口

所在地：埼玉県川口市安行領根岸3180
イオンモール川口1-2F

●FIA会員

トータルコーディネートジム虹空

所在地：兵庫県明石市魚住町住吉1-4-5

REAL WORKOUT綱島

所在地：神奈川県横浜市港北区綱島西1-1-6
LOLビル3F

アクトスWill_G 三洋堂シャオ西尾

所在地：愛知県 西尾市下町御城下23-1
おしろタウンシャオ2F

Issue

記事

ロート製薬、健康目標の達成で社員に還元 メタボなど

ロート製薬は社員が健康目標を達成すると社内通貨を支給する新たな制度を導入した。社員がメタボリック症候群や貧血の改善といった8項目の中から目標を1つ選ぶ。会社は栄養機能食品を割引で提供するなど達成を支援する。正社員やパート、約1900人が対象で、目標を会社に申告する。目標の選択肢は、会社が毎年の健康診断や体力測定の結果を基に健康課題を分析して決めた。

会社は社員の目標達成を後押しする。メタボ解消を目指す社員には段階的に生活習慣を改善するメニューを提示し、実現するために食事の指導が受けられるアプリを提供したり血糖測定器を貸与したりする。栄養機能食品も半額で提供する。貧血改善に取り組む社員には、不定期でセミナーを開くほか3カ月分の鉄分入りゼリーを支給する。

目標を達成した社員は食事やバランスボールなどの健康グッズの購入に使える社内通貨「ARUCO」が主にもらえる。メタボ解消をめざす社員がメタボでなくなれば、1万コインを獲得する。社内食堂などで1コインを1円分として使える。

(2021.5.13 日本経済)

アステラス、糖尿病治療アプリ、バンナムと生活習慣病改善

アステラス製薬が病気の治療や予防にアプリを活用する。糖尿病患者に対しての治療用アプリの臨床試験(治験)をはじめ、バンダイナムコホールディングスと組んで生活習慣病の改善を目指す。

最も期待される一つが糖尿病用治療アプリの「ブルースター」。ブルースターは10年に米食品医薬品局(FDA)が世界で初めて承認した治療用アプリ。ブルースターは血糖値などのデータを入力するとアプリが食事や運動プログラムをアドバイスして病気の改善を促す仕組みだ。「従来の飲み薬以上の改善効果が期待できる」(岡村副社長)。22年3月期中にも治験を始め、今後3年ほどで実用化を目指す。さらに進めるのが生活習慣病患者の状態を改善するプログラム開発だ。スマホアプリを通じて運動プログラムなどを提供する。楽しみながら気軽に身体を動かし、健康を管理できる仕組み作りを目指す。

その一つとして取り組むのが18年に提携したバンダイナムコとの共同開発だ。まず生活習慣病の改善を支援するアプリ開発を進めてきた。2月に無料版として「屈伸運動ゲーム」をはじめた。スマホを利用し、チームで屈伸の回数を競う。さらに20年9月から始めたのが同社が開発した運動プログラム「フィットエンス」の提供だ。糖尿病患者などは運動療法が効果的とされるが、医師が介在し指導することは難しい。このサービスでは医師が患者にプログラムを紹介し、アプリを通じて運動履歴を医師が確認できる仕組みだ。現在は神奈川県での導入に限って提供しており、「メガロス」や「ルネサンス」で導入が進む。

(2021.5.13 日経産業)

「金銭だけ」で労働、健康リスク

高齢者のうち金銭だけを目的に働く人は、生きがいを求めて働く人よりも健康リスクが高いとする研究結果を、東京都健康長寿医療センター研究所の介護予防・フレイル予防推進支援センター、同社会参加と地域保健研究チームが発表した。

2013年と15年に、東京都内の65歳以上の高齢者に調査票を送り、13年の時点で働いていた1069人を対象に調べた。

働く目的が「健康のため」「生きがいを得たい」「社会貢献・社会とのつながり」だと答えた人を「生きがい目的」と定義。また「生活のため」「借金返済」「小遣い程度の収入」と答えた人を「金銭目的」と定義した。

内訳は、生きがい目的だけが24%、金銭のみが34%、両方に目的がある人は43%だった。

3つのグループの2年後の調査結果から、主観的な健康感の程度、精神的な健康度、生活機能悪化リスクを比較すると、金銭のみが目的と答えた人は、生きがいを目的とした人に比べて健康感の悪化リスクが1.42倍、生活機能の悪化リスクが1.55倍になった。生きがい、金銭両方を目的とした人は、生きがい目的の人との差がなかった。

(2021.5.17 日経産業)

オンラインで肥満改善指導、長野・佐久市の病院一信越トピックス

長野県佐久市の佐久市立国保浅間総合病院が肥満や脂肪肝の改善に向けてオンラインで患者に助言する「佐久リモートプロジェクト」を始めた。食事内容などを助言するほか、24時間連続で血糖値を測定できる装置を装着した患者のデータを医師が確認して指導に生かす日本初の試みだ。

プロジェクトは体重と身長バランスをもとに体格をみるBMIが25以上の肥満症で、糖尿病ではない人を募集。30人が参加している。参加者は毎日、起床時に体重を測り、間食も含めて食べた物を写真に撮って記録する。栄養士は記録を確認し、毎日メールで助言する。

血糖値も1カ月のうち2週間計測。腕に小さな測定器を1日24時間貼り付け、血糖値の変化を記録する。医師は食事内容など含めたデータを分析し、月に1回、患者に電話でアドバイスする。こうした取り組みを3カ月間続けて、最終的には体重を6kg程度減らすことを目標としている。

プロジェクトの最大の特徴はすべてがオンラインで完結する点にある。患者が浅間総合病院を訪れるのは初診時と3カ月後の2回だけ。食事内容や血糖値など患者のデータはすべてクラウドに蓄積し、栄養士や医師からの助言はメールや電話を活用する。

プロジェクトの中心メンバーは、浅間総合病院の尾形哲外科部長と西森栄太内科部長。同病院の取り組みを知った中央大学が研究費を提供して研究全体を管理し、患者への助言などで信州大学医学部、長野市民病院の医師も加わる。

(2021.5.21 日本経済)

アイマデザイン、トレーナーと利用者マッチング、在宅でオンライン指導を来月から

大阪市内でトレーニングジムを展開するアイマデザインは、自宅で体を鍛えたい利用者とトレーナーを橋渡しするサービスを6月から始める。利用者は好みのトレーナーを選んで、オンラインで指導を受けられる。新型コロナウイルス禍で仕事が減ったトレーナーや在宅でトレーニング指導を受けたい利用者の登録を見込む。

サービス名は「ホストレ」で、スマートフォン・タブレット端末向けの専用アプリを6月中旬に公開する。トレーナー志望者は顔写真のほか、得意な指導分野や趣味などを細かく登録。利用者は受けたい指導内容などに合わせて好みのトレーナーを選び、オンラインで指導を受ける仕組みだ。

トレーナーはアプリ上でレッスンを登録し、一度に4人まで利用者を募れる。利用者側は好みのトレーナーに個別指導を依頼できるほか、「ピラティス」「女性限定」などの希望や実施時間などの条件を付けてトレーナーを募集することもできる。指導は全てオンラインで、アプリ内の専用のビデオ通話システムを使う。複数人で指導を受ける場合、トレーナー側は参加者全員が見えるようにする一方で、利用者同士は顔が見られないようにするなどプライバシーに配慮するという。レッスンの料金はトレーナーごとに自由に設定でき、米アップルなどに支払うアプリの手数料や、アイマデザインへのサービス使用料などを除いた6割程度がトレーナーの取り分となる。また、トレーナー側が自分のファンを増やす手段として、ライブ配信の機能も付ける。好きな時間に「食事管理のコツ」などの動画を配信し、コメント欄で利用者と交流できる。利用者の質問に答えた際などに「投げ銭」をもらえる機能もある。

(2021.5.26 日経MJ)

自宅でフィットネス楽しめる「魔鏡」

スポーツジムの会員になったが行く時間がない、スタイルが悪くてジムに行くのが恥ずかしいとお悩みの方もいるだろう。フィットネスの新商品「魔鏡(魔法の鏡)」=写真=が発売された。自宅で運動でき、細切れ時間も活用できる。中国新聞網が伝えた。

「魔鏡」とは、FITURE製のスマートフィットネスミラーのことで、4K・60fps(フレーム/秒)高画質ディスプレイを持つ。「ハードウェア+コンテンツ+サービス+AI(人工知能)」を主体とするソリューションを通じ、スマートフィットネスミラーを媒介とし、ユーザーに運動カリキュラムやAIインタラクションなどを提供する。

FITUREの張遠声総裁は「すべてのカリキュラムが当社で作り撮影したもので、これによりカリキュラムの高品質を保証している」と述べた。

「魔鏡」は個人向けが中心で、販売価格は7800元(1元は約16.7円。製品と1年間の個人版会員権が含まれる)。家庭版会員が必要であればアプリで購入しアップグレードできる。

IHRSA(国際ヘルス・ラケット&スポーツクラブ協会)は、フィットネス業界の利用者数は2030年までに2億3000万人を超え、年間で20%以上の成長率を維持すると予測している。

(2021.5.25 日経産業)

福岡県への緊急事態宣言延長 スポーツクラブ再開へ

福岡県などに発令されている新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が、6月20日まで延長されることになった。県は引き続き大型商業施設への土曜・日曜の休業や酒類を提供する飲食店への休業を要請することにしており、事業者は対応を進めている。一方、土日休業の対象から外れる大型スポーツクラブでは、営業を再開する店が出てくる。大型スポーツクラブは1日以降、土日休業の対象外となる。大手のルネサンスは県内の商業施設に入居する1店舗で、土日の営業を再開する。

床面積が1千平方メートル超の百貨店やショッピングセンターなどの大型商業施設は生活必需品を除き、土日休業が求められる。岩田屋三越(福岡市)は食品と化粧品、衣類など一部売り場を除き休業する。午後7時までの営業時間は午後8時までに戻す。ただ、ある百貨店関係者は「6月からは中元商戦が始まる。休業は正直厳しい」と打ち明ける。一方、福岡市の大型商業施設、キャナルシティ博多は「生活必需品の線引きが難しい」として、引き続きテナントごとに判断を委ねる。

県内の飲食店では宣言延長に伴い、時短営業を継続する企業が多い。豚骨ラーメン店「一風堂」を展開する力の源ホールディングスは、午後8時までの時短営業を続ける。担当者によると現在の客数はコロナ前の3〜4割減程度だが、過去2回の宣言時よりも多く「地方のショッピングセンターに入る店などで客が戻ってきている」という。

(2021.5.31 日本経済)